

令和6年度 地理歴史科 「世界史探究」シラバス

単位数	4	学科・学年・学級	3年4・6組
教科書	詳説世界史探究（山川出版社）	副教材等	

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	文明の成立と古代文明の特徴	文明の誕生 古代オリエント文明とその周辺 南アジアの古代文明	○自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。 ○おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 ○オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ○都市国家に富や権力が集まった理由を多面的・多角的に考察し表現する。 ○南アジアの多様性を生み出した地理的環境について理解する。 ○南アジア最古の文明であるインダス文明が栄えた場所の特徴を理解する。	定期考査 小テスト 提出課題 発問評価 発表・レポート提出 授業態度
	5	南アジア世界と 東アジア世界の展開	仏教の成立と南アジアの統一国家 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 東南アジア世界の形成と展開	○仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。 ○南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとでの仏教の発展について理解する。 ○クシャーナ朝と周辺諸地域との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ○グプタ朝における宗教や文化の展開を理解する。 ○8～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解する。 ○ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいてきた背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ○東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解する。 ○東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ○東南アジアにおける国家形成の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	
	6	西アジアと地中海周辺の国家形成	イラン諸国家の興亡とイラン文明 ギリシア人の都市国家 ローマと地中海支配 キリスト教の成立と発展	○アケメネス朝が広大な領域に中央集権の支配を築ことができた背景や要因を理解している。 ○バルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。 ○ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。 ○民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。 ○ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ○ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 ○地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。 ○ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ○キリスト教の成立の経緯を理解している。 ○ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。	

7	ヨーロッパ世界の変容と展開	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	アラブの大征服とイスラーム政権の成立	<p>○アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解する。</p> <p>○イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>○イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	
		イスラーム教の伝播と西アジアの動向	イスラーム教の諸地域への伝播	○イスラーム化が諸地域にもたらした変化について理解している。	
		ヨーロッパ世界の形成	ヨーロッパ世界の形成	<p>○ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。</p> <p>○ローマ教会とフランク王国の関係を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>○西ヨーロッパに特有の封建社会の仕組みについて理解する。</p>	
		西アジアの動向	西アジアの動向	<p>○トルコ人の進出が西アジアにもたらした変化について考察し表現している。</p> <p>○十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした影響について考察し表現している。</p>	
		西ヨーロッパの封建社会とその展開	西ヨーロッパの封建社会とその展開	<p>○中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解する。</p> <p>○十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	
		東ヨーロッパ世界の展開	東ヨーロッパ世界の展開	<p>○ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>○ビザンツ文化が果たした世界史的な意義について理解する。</p>	
7	ヨーロッパ世界の変容と展開	西ヨーロッパ世界の変容	西ヨーロッパ世界の変容	<p>○封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>○教皇権の衰退と王権の伸張の関係について理解する。</p> <p>○各国における、身分制議会の成立と王権の伸張の関係を理解する。</p>	
		西ヨーロッパの中世文化	西ヨーロッパの中世文化	<p>○中世の西ヨーロッパにおいてキリスト教が果たした文化的役割を理解する。</p> <p>○中世の西ヨーロッパの美術や文学と、その時代の社会との関係を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	
		期末考査	期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	アジア諸帝国の繁栄	オスマン帝国とサファヴィー朝	<p>○オスマン帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。</p> <p>○オスマン帝国の勢力拡大の経緯を理解する。</p> <p>○サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	定期考査 小テスト 提出課題 発問評価 発表・レポート提出 授業態度
		近世ヨーロッパ世界の動向	ムガル帝国の興隆	<p>○ムガル帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。</p> <p>○ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の関係を理解する。</p>	
第2学期	9	近世ヨーロッパ世界の動向	ルネサンス	<p>○ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>○多方面におよぶルネサンスの成果が後世に与えた影響を理解する。</p>	
			宗教改革	<p>○それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>○カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教会の成立の意義を理解する。</p>	
			主権国家体制の成立	<p>○主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>○アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解する。</p>	
第2学期	9	近世ヨーロッパ世界の動向	オランダ・イギリス・フランスの台頭	<p>○17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>○17世紀における2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。</p> <p>○近世フランスの強みと課題を多面的・多角的に考察し表現する。</p>	

10	産業革命と環大西洋革命	北欧・東欧の動向	<ul style="list-style-type: none"> ○主権国家体制においてポーランドとスウェーデンが占めた位置を理解する。 ○ロシアが主権国家体制に参入していった経緯を理解する。 ○プロイセンとオーストリアの関係の推移を多面的・多角的に考察し表現する。
		科学革命と啓蒙思想	<ul style="list-style-type: none"> ○科学革命の成果について、自然法則の発見以外にも着目して理解する。 ○科学革命がヨーロッパ人に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ○従来の学知の展開と比較したうえで、「実用の学」としての啓蒙思想の意義を理解する。
		産業革命	<ul style="list-style-type: none"> ○海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響を理解する。 ○イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ○16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。
		アメリカ合衆国の独立と発展	<ul style="list-style-type: none"> ○北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移を理解する。 ○独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。 ○アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。
		フランス革命とナポレオンの支配	<ul style="list-style-type: none"> ○革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ○人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。 ○ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。
		中南米諸国の独立	<ul style="list-style-type: none"> ○ハイチ革命の特殊性について、環大西洋革命の他の事例と比較したうえで理解する。 ○中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を多面的・多角的に考察し表現する。
	イギリスの優位と欧米国民国家の形成	ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動	<ul style="list-style-type: none"> ○ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。 ○ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ○1848年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察し表現する。
11	アジア諸地域の動揺	中間考査	
		列強体制の動揺とヨーロッパの再編成	<ul style="list-style-type: none"> ○クリミア戦争におけるロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑を理解する。 ○19世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解する。 ○ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。
		アメリカ合衆国の発展	<ul style="list-style-type: none"> ○領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ○南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。 ○アメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を多面的・多角的に考察し表現する。
		19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	<ul style="list-style-type: none"> ○19世紀欧米文化における担い手や展開された場（空間）の推移を理解する。 ○国民文化と国民国家形成との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ○近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。 ○大都市文化が都市の景観に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。
		西アジア地域の変容	<ul style="list-style-type: none"> ○オスマン帝国の動揺の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ○オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯を理解する。 ○オスマン帝国の改革の成果と課題を理解する。

			南アジア・東南アジアの植民地化	○ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況を理解する。 ○東インド会社の統治と比較したうえで、イギリスによるインドの直接統治の特徴を理解する。 ○東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 ○新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響を理解する。 ○帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ○各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。 ○列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ○列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。 ○20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察し表現する。	
	12	帝国主義とアジアの民族運動	第2次産業革命と帝国主義	○バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。 ○歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ○第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ○ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。	
		第一次世界大戦と世界の変容	第一次世界大戦とロシア革命		
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	○第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。 ○西欧諸国における第一次世界大戦後の展開を多面的・多角的に考察し表現する。 ○国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化を理解する。 ○イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を多面的・多角的に考察し表現する。	定期考査 小テスト 提出課題 発問評価 発表・レポート提出 授業態度
		第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	アジア・アフリカ地域の民族運動	○第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ○第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。 ○第一次世界大戦による西アジアの政治地図の変化を理解する。 ○世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ○ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解する。 ○ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解する。 ○ソ連の計画経済が資本主義諸国に与えた影響を理解する。 ○日本と中国が全面戦争へいたった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ○ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解する。	
			世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	○開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ○ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。 ○独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。	
			第二次世界大戦	○戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 ○冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展について、それぞれの経緯を理解する。	
			新しい国際秩序の形成	○米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。 ○冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	
		冷戦と第三世界の台頭	冷戦の展開		

冷戦の終結と今日の世界	第三世界の台頭とキューバ危機	○自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。 ○アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。 ○キューバ革命の背景および影響を多面的・多角的に考察し表現する。
	冷戦体制の動揺	○国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。 ○1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現す
	産業構造の変遷	○経済成長にともなう先進諸国の政策・社会の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ○1970年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのかを理解する。
	冷戦の終結	○1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。 ○ソ連で始まった改革と東欧革命との関係を多面的・多角的に考察し表現する。
	今日の世界	○東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。 ○旧社会主義国で起こった民族運動や民族対立の特徴を理解する。 ○冷戦終結後も続く地域・民族紛争の背景や経緯を理解する。
	現代文明の諸相	○経済における世界の一体化の経緯を理解する。 ○21世紀初めにアメリカ合衆国がおこなった戦争の背景や経緯を理解する。 ○今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を多面的・多角的に考察し表現す
学年末考査	○20世紀以降の科学技術の革新が人々の生活に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ○現代思想・文化における新しい潮流の内容を	

3 評価の観点

知識・技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

4 評価の方法

定期考査の得点、課題レポートの内容、授業プリントの完成度、授業ノートの完成度と工夫を総合的に判断します。また、授業への取り組みや態度も評価します。
知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価します。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

よく「歴史は暗記科目」だと言われます。確かに難しい人名や地名、歴史用語を憶えなければ試験の点数は取れません。特に外国の歴史を勉強する「世界史」には、難しい漢字や聞き覚えのないカタカナの人名や地名がたくさん出てきます。それらを憶えるだけでも大変でしょう。しかし単なる知識の丸暗記だけでは、「世界史」を学習する意味はありません。「ある一つの出来事が、なぜ起こり、それが今のどんな出来事に影響を与えているのか」を考え、追体験することが、歴史を本当に学ぶことです。今の世の中を理解するための勉強だということを忘れないでください。